



たづがね (鵲が音)

「笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい」の西北台っ子

2学期も残すところ1ヶ月 師走に突入します

早いものでついこの間11月に入り教育ウィーク(1~7日)でたくさんの保護者や地域の方、外部指導者の方々にご来校いただき、児童や学校の様子を見ていただいたと感じていました。それがもう12月突入の声が聞こえてきました。つまり、西北台小学校もあと4ヶ月あまりとなったということです。3月末で閉校と分かっているはいましたが、一日一日が過ぎていく中で、なにかものの寂しさを感じる時期となってきました。児童は羽咋小との交流を重ねています。保護者も4月に備えて準備をしてくださっていることと思います。また、地域主催の閉校記念事業実行委員会も全体会を4度開催し、順調に進めてくださっています。その間、適宜部会(総務部、記念碑部、記念誌部、式典部)も行ってくださっています。3月29日(日)に向けて、地域全体で良い日にしていくために取り組んでいきたいと考えています。

改めて「アウトプットの重要性」について

脳にあまり負荷がかからない勉強法

- ①繰り返し教科書やノートなどを読むだけ
- ②ノートなどに書き写したり、まとめたりするだけ
- ③大切だと思うところにマーカーで線を引くだけ

インプットも必要不可欠ですがこれだけでは脳にしっかりと留まりませんね。

インプット



勉強したつもり!



【最高の勉強法より 安川康介 氏 著 一部抜粋】

脳に負荷をかける勉強法 = アクティブリコール

★勉強したことや覚えたいことを、思い出したり、記憶から引き出したりする・・・積極的な**アウトプット**

①書き出すこと(自学ノート)

・書き出すときには、教科書やノートを見たりせず、思い出しながら、声に出しながら書く。

②話をする(友達と家族と)

・人に話すことで、記憶が深まると言われています。繰り返し話をするのもっとよいです。例えば、友達に説明しながら教えてあげたり、家族に学習したことを話したりする。

ぜひ、ご家庭で「今日はどんな勉強をしたの」と問いかけて、しっかりと聴いてあげてください。インプットだけに時間をかけて、「勉強したつもり」では定着しません。子どもと過ごす時間は限られていますが、その日の学校での学びを話すことが効率よく定着させる方法の一つになります。「話をする(アウトプット)」を家庭でのルーティンにもらえるといいのではないのでしょうか。

効率的な勉強



先日実施しました「タスキリレー大会」では保護者、地域の方々の声援にとっても勇気をいただきました。心から感謝いたします。ありがとうございました。